

# 木協通信

第72号  
発行年月日  
令和2年10月1日  
日田市大字東有田  
字新山2776-6  
日田木材協同組合  
TEL24-2167



安全第一

## ☆日田木材協同組合百年を語る

日田から保木迄「中乗」は急流や難所が多くて、全く油断大敵、若し岩にでも突き当たれば大変なことで、筏が壊れでもすると、流れた木材を集めて、川原に引き揚げ、組直さねばならなかったのでもいつも余分のかずら」を用意していた。

それでも大明神のところなど永年の間、棹を突きさしたためにくぼんだ石が残っている。

気候の良い時はしぶきに濡れてよかったが、冬は手が紫色になるし、火を焚く暇もなく一番苦しかった。

久留米を過ぎると潮の関係が大事であった。

引潮に乗って下るので潮の具合では夜中に出ることもあり、一潮でいかない場合は次の潮で下せねばならず、月のない晩は永年の勘と見当で下らねばならなかった。

次号へ続く

## ☆大分県西部地域林業 労働安全対策連絡協議会 事業所安全パトロール

労働安全協議会では、フォークリフトによる死亡事故等の災害を受け、毎年実施しております事業所の安全パトロールを今年度も強化して行っております。また、山林現場や原木市場等のパトロールも実施しています。8月27日には、(株)深津製材所、(株)小田製材所を訪問しました。

災害のないように、製材機やフォークリフトの点検を行う。整理整頓し、鋸など、カバー等を取り付け、安全対策を行う。



## ☆木づかい促進事業について

令和2年の木づかい促進事業については、コロナウイルスの影響から経済活動が停滞していることを受け、リフォームは20万円分の木材が支給されるなど、条件が緩和されたことから利用者が増加しました。また、8月の豪雨により、災害も対象となったことから、当初の予算では、3980万円でありましたが、陳情等により、最終的に8560万円に増額されました。9月25日現在で、一般の残りが908万円、災害の残りが1350万円となっていますので、お知らせします。

## ☆大山祇神社大祭

昭和31年9月に、日田木材協同組合が奉建致しました林業の守護神であります大山祇神社大祭を9月24日大原八幡宮に於きまして執り行い。コロナ感染対策の為、御来賓の方々にはご案内せず、木協役員及び職員で執り行いました。尚、雨天の為、本殿で執り行いました。



## ☆秋の優良市について

令和2年10月22日の優良市に向けて、木協業務委員で、出荷督励を行いました。  
・日田郡森林組合、大村林業、出荷督励



板井公源、岡城銘木、  
直入運送出荷督励



堀木材、阿南忍製材所出荷督励



尚、組合員皆様のご協力、ご出荷を宜しく  
お願い致します。

## ☆大分県農林水産祭 おおいたみの りフェスタ開催案内

日時 令和2年10月10日土曜日、  
9時30分～16時30分  
令和2年10月11日日曜日  
9時30分～15時30分

場所 別府市野口原 別府公園

※農産物等の無料配布はありません。

無料シャトルバス案内  
別府中央小学校、別府公園

新型コロナウイルス感染防止対策と、入  
場制限を行います。

☆人事異動 清竹主任の10月20日退職  
に伴い次の通り仕事分担が一部変更になり  
ました。  
・宮崎桂一 製品共販係長兼務  
・穴井順子 庶務係兼務